



日本離床学会
離床教育基礎プログラムI

実践! 早期離床

～急性期から在宅まで一歩進んだ離床の考え方～



難易度 ★★★★★

講座コード K-4

日時：2026年
6月6日(土)
10:00～16:10

見逃し受講期間
2週間あり

場所：インターネット生ライブ中継
対象：看護師・若手のPT・OT・ST(自称・他称問わず)
後輩・他職種への指導のコツを学びたい医療スタッフ(左記以外も受講可)
講師：曷川 元 先生(日本離床学会 会長)
受講料：会員 9,800円(税込)
一般 12,800円(税込)

今、会員になると
年会費 4,900円が無料
実質 7,900円割引!



若手・新人
必修講座



「ただ起こすだけ」のルーチンから 抜け出してみませんか?

実際の臨床での
動き方も動画で
しっかり詳説



ルーチンでいつも通り離床した結果、予期せぬ急変・・・こうしたアクシデントを防ぐためには、豊富な知識と多角的な視点が必要です。この講座では、急性期から在宅まで絶対知っておくべき知識を網羅。自分がメインとする病期だけでなく、患者さんの回復の流れで学んで“今”あなたが行うべきアプローチを提案します。さあ、あなたも「根拠ある治療」としての離床を学んで、周りのスタッフより一歩リードしてみませんか?



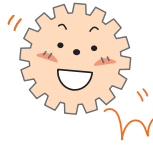
まずはコレ! 長年支持されたロングラン講座を聴いて離床の基本を学ぼう



Lesson 1 早期離床の最新エビデンスと基本コンセプト
～なぜ今、離床が必要なのか～

Lesson 2 離床を成功に導くための患者アセスメント

- ◎呼吸のアセスメント ～おさえておくべき触診・聴診のポイント～
- ◎循環機能の基礎評価と合併症(起立性低血圧・DVT)対策
- ◎せん妄予防の具体策
～挿管患者に対する早期介入を実現するための鎮静管理～
- ◎運動機能を簡易に把握するためのスクリーニングテスト
- ◎いつもは出ていない“むくみ”が出ている!
その時必要な評価と原因特定法
- ◎この利用者さんのどのくらい動いているのか? 在宅における離床量の測り方



Lesson 3 症例を通して学ぶ離床可否の判断

- ◎離床基準の決め方とステップアッププログラムの構築法
- ◎「呼吸が悪ければまず体位変換から」という常識を考え直そう
- ◎早期ADL向上を目的とした急性期作業療法の行い方
- ◎回復期・在宅で必要となる最新評価とアプローチ法
～患者の個別性を意識した多角的ケアの潮流～
- ◎臨床における動作介助のポイント



ICU → 急性期 → 回復期 → 在宅

施設長・技術長の皆様

これから10年必要となるコンセプトを徹底して学ぶ貴重な機会となります。是非、一人でも多くのスタッフの出席にご配慮ください。



講師よりメッセージ 離床と聞くと「なんとなく良いもの」という感じを受けると思いますが、この数年で次々とエビデンスが明らかとなり「根拠ある治療」に変わりました。こうした最新知識に加えて、我々ベテランの臨床経験を交え、まさに今必要なコンセプトを皆さんに伝えます。初めて講座を受ける方も大丈夫。楽しく、眠くならない講義を約束します。さあ、一緒に学びましょう!

※この講座は、アドバイザー取得コースの理論系・実技系計2単位を取得することができます。

受講方法

ホームページよりオンライン登録

日本離床学会

検索

お問い合わせ・お申込先

臨床を元気に! 日本離床学会

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-2-12 プラールビル2F
ホームページ <http://www.rishou.org/>
TEL 03-3556-5585 FAX 03-6272-9683
Eメール jsea@rishou.org

